

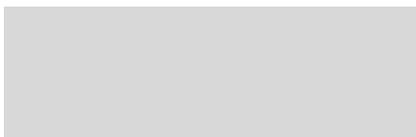


# Vol.127 BINGO JOURNAL 教区報

メールアドレス [paper@bingo.gr.jp](mailto:paper@bingo.gr.jp)  
ホームページアドレス <http://bingo.gr.jp/>



親鸞聖人  
750回大遠忌



写真説明は9頁

## お寺の見える風景

とき 時代の流れのなかで — 移転

## CONTENTS

### 視点

- ・ 平和のつどい
- 「念仏法難八〇〇年を考える」

### ルポ

- ・ 法座のあり方を考える
- 坊守探訪
- ・ 神石組法泉寺

### 特集

- ・ 「安楽寺縁起絵」 絵解き
- NEWS & 活動情報

- ・ 本願寺備後会館報恩講
- ・ 活動報告

### 予報・インフォメーション

- ・ 僧研 備龍会 前進座
- ・ 今後の予定
- ・ 教化資料BOX
- ・ ご門徒さん

### 《お願い》

『教区報』の編集にあたり、皆さまのご意見やご感想、情報の提供をお待ちしています。教区報専門委員会までご一報下さい。

Fax (084) 92415759  
(084) 93119323



ともに いのち  
かがやく 世界へ

視

Vol.1<2>

点

# 念仏法難八〇〇年を考える 「平和のつどい」

今回で12回目を数える「平和のつどい」が昨年10月31日、福山市神辺文化会館で行われた。参加者は354名。テーマは「全戦争犠牲者をしのんで平和を築く精神 念仏法難八〇〇年」。講師は真宗大谷派教学研究所の玉光順正前所長。今回は「念仏法難八〇〇年」の講演内容をまとめて掲載した。

なぜ、教えに背いたのか

真宗大谷派光明寺  
**玉光順正** 住職  
1966年同志社大学卒業  
1967年京都大谷専修学院卒業  
真宗大谷派教学研究所前所長

1995年に「終戦50周年全戦没者総追悼法要」に当たって大谷光真ご門主が「宗祖の教えに背き仏法の名において戦争に積極的に協力していった過去の事実を仏祖の御前に慚愧せずにはおれません」と示されておられるが、『歎異抄』の言葉で言い換えると「まったく仰せにてなきことをも仰せとのみ申すこと、あさましく歎き存じ候ふなり」である。親鸞聖人の教えではないことを教えとして説いた結果、いろいろな間違いを起こしていった。親鸞聖人の教えに立つ念仏者である私たちがなぜ、そうなったのか、ということを考えてなければいけない。

浄土真宗で法義を相続するということはどういふことなのか。大谷派

の竹中智秀先生は神国思想そのものと決着をつけるということだ、といわれている。日本は神の国である、といわれ、真宗門徒の神国思想そのものと対決する。浄土を根拠としてこの世を生きたとき、日本民族が体質として持っている神国思想そのものと決着をつけていくということがあつて、はじめて仏法があらかたにされていくということでしょう。これは非常に困難な問題でもある。そういうところが法義相続、つまり親鸞聖人の教えを伝えていく、相続していくということには、具体的に神国思想と対決し、それを転じていくことだ、とおっしゃっている。

法義相続の意味合い

私たちは、法義相続とは念仏の教えを聞いて伝えていくことだと考えている。そして、神国思想との対決とは別の問題として考えていたように思う。親鸞聖人は流罪に遭われたときに「主上臣下、法に背き義に違ひ忿りを成し怨みを結ぶ」といわれている。この中に「法」と「義」の

文字が見える。つまり法義という言葉が使われている。流罪に遭ってまさに怒りの言葉として法義という言葉を書き付けられている。今、私たちが使う法義相続と意味合いが違うように感じる。法義を相続するという意味において流罪八〇〇年という意義の大きさがそこにあると考えることができる。

蓮如上人以降は外からの法難は消えたが、内からの法難はずっと受け続けて、腐ってきた。法難がないということは、念仏者が腐っている、と竹中先生は言われている。親鸞聖人が真宗興隆といわれた時は、承元の法難の所をいわれるので、真宗が興隆する時は法難があつてのことだともみることが出来る。

法難がないということは真宗が衰退しているということも受け取れる。内からの法難と受け取るのは難しいし、内からの法難の方が念仏者にとって厳しいものである。その上で竹中先生は、実はそのようになってきたのは、これまで特に蓮如上人以降の真宗教団の中でタブーにしてきた問題、つまり触れなかつた問題がある、と指摘される、それは浄土の問題、仏事の問題、戦争責任の問題、天皇制の問題で、これらのことにつ

いて、私たち本願寺教団は触れないようにしてきた、と言われる。実は親鸞聖人の願いと違ったものが伝えられてきたのではないかと考える。たとえば「浄土」にしても親鸞聖人、蓮如上人の時代の「浄土」という言葉のもっている響きには今とは違うものがあつたのではないか、と思われる。

『歎異抄』では法難の記録が出てくるところに「法然聖人、他力本願念仏宗を興行す」とある。法然上人の周囲の人たちを念仏宗と呼んでいた。その中には親鸞聖人もいた。当時の念仏は法然上人、親鸞聖人の念仏で、決して時と場所を選んだ念仏ではない、ということが大事である。実はそのことが弾圧のきっかけになった。これが承元(建永)の法難である。

### 流罪により仏教が社会学に

親鸞聖人は「念仏して往生ねがふしるし」と示されている。これは人間が念仏して解放され続けることで、開かれるということである。そして、世にくせ事(まがったこと)が起こつたら、それにつけても念仏を深くたのみとおっしゃっている。

私たちはそんなことをあまり念仏にたのまない。本当に念仏をするというのは、社会や政治の問題に宗教的課題として関わっていくことである。念仏者は、社会に対して迎合するのではなく、世を厭う、つまり批判していく、そういう精神というものが念仏者の精神である。ところが、実際はこうしたこととして念仏を考えてこなかった。これが流罪ということをやブーとしてきたという意味であろう。

法然上人は流罪になつても全く変わらなかつた。ところが親鸞聖人の場合は流罪に遭つて変わった。流罪以降「僧にあらざ俗にあらず、しかるあひだ、禿の字をもつて姓となして」といわれ、親鸞聖人は与えられた藤井善信という俗名を拒否した。国家から拒否されて、その拒否した国家を自ら拒否した言葉が「非僧非俗」である。

もう一つ「非僧非俗」の意味がある。罰せられた時にどうなるか、ひとりになる。「いちにん」ではなく「ひとり」である。「親鸞・一人になることのできる宗教」である。私ひとりがあるゆる違いを越えて、人種、国籍、性別、年齢、能力とか、さまざまの違いを越えてひとりの人

がひとりの人と水平に出会うことができるひとりになる。それが「非僧非俗」という親鸞聖人の思想の一番の基本である。

親鸞聖人は流罪によって初めて民衆を知つたといわれている。「非僧非俗」の宣言をする事により仏教が社会学になつた。つまり、それまでは自分が悟ればよいという個人的な救い。それが自分の救いと他人とは無関係ではない。そういうことがはつきりしたのが親鸞聖人が流罪になつた事実だということである。仏教が社会学になつたということの中に流罪ということの意味がある。

### 法難にあつて民衆を知る

「主上臣下、法に背き義に違し念りを成し怨みを結ぶ」ということであるが、これは同時にそれこそ敵のために祈れ、念仏を知らぬ人こそ助かれというこ

とである。私たちと考えるに、そういう人たちが、そういう人たちがこそ助



講演終了後のオカリナ演奏と詩の朗読

かる、こういうことが念仏者ということでしょう。ですから自分と考える違う人を排除するのではなく、そういう人も、またどこまでも包んで行く。そういうことが徹底した批判精神ということでしょう。

「知識人の使命とは常に努力すること、それもどこまで行つてもきりのない、またいつまでも終わらない努力を続けるということだ」(サイド)と言つた人がいるが、これと同じことで「無限に中途なる道を歩む」、つまり念仏者というのは、無限に中途なる道を歩み続ける、そういう者を念仏者と考えると良いと思ふ。ともかくそういう意味では無限に中途なる道を歩む、終わりのない道・世界を歩む。そういうことが念仏者として生きるといふ事になるうかと思ふ。

親鸞聖人の教えは流罪によつて始まつた浄土真宗と考えられる。流罪ということがなかつたら、たぶん浄土真宗も浄土宗親鸞派くらいのもものではなかつたか。ところが法難にあつて民衆を知る、仏教を社会学にすることによつて浄土真宗が明らかになる。その意味で流罪はとても大事なのである。

# ルポ

## 法座のあり方を考える②

### 深津組常例線布教を追って ①

毎月5日から11日まで行われる「深津組常例線布教」は今年で26年目を迎える。それまで私線(組の寺院が独自で進める常例線)はあったが、教区が進める常例線はなかった。当時の深津組の組長をはじめ各会所住職らの深い理解と協力あればこそ実現したという。こうした会所寺院の法座への熱い思いが源流に流れているからこそ、お同行もお聴聞へ訪れるのだろう。前回に続いて、今回は後半部分の寺院を追った。

(文責・教区報専門委)

## 「お参りが少なくなった」というが…

「夜席」の大切さと勇氣

福山市の中心街から少し南よりにある崇興寺(枝廣重雪住職、福山市川口町)は唯一、夜席がある。ある組の連研で門徒推進員から「昼席は仕事を持っている人がお参りできない。減りつつある夜席をもっと増やして欲しい」という意見に対し、連研での講師が「夜席を持つことは住職にとって大変な勇氣と決断が必要です。もし、お参りがなくなったら、あるいは一人だったらどうしよう、ご講師にどう説明しよう、など考えます」と説明されたが、それほど深刻化している。

こうした中で崇興寺では「夜席を楽しみにしている人が多いから」と機会をもっている。確かに昼席の顔

ぶれとは違った人が来ている。機会を持つことの大切さを感じさせた。

年4、5人の新たなお同行

深津組常例線の最後は福山市の東郊外の専光寺(藤井徳行住職、福山市大門町)である。藤井住職はこの



夜席がもたれる崇興寺



告知をする専光寺の案内板



会館本堂を清掃奉仕する 仏婦会員

常例線について 規則的にお寺へ向かうということが身につけていく。聞くという姿勢が育て上げられていく。定期的にあるので新しい人でも気軽に來ることが出来る。寺族と門信徒関係が深くなる、と分析する。

特に同寺近くには団地もあり、については年間4、5人の新しい人が増えるという。また、については「門徒の方とお味わいのご法義談義ができるのが嬉しいですね」と、深められて行くことの大切さを強調していた。

最後は本願寺備後会館の常例布教で終る。この常例には当番による組単位での仏婦の清掃奉仕がある。教区布教団長の高田英彦教務所長は「毎月のご参拝も増え、毎年10名近い、新たなご参拝があります。有り難いことです。また、仏婦の方々の

「数」を数えたことがあるだろうか。20年も変わらぬ嘆きの中で、本当は法座を設定する側、そして法座に出講する側の「心の過疎化」こそ大敵かもしれない。そんなことを教えてくれたのが常例線や奉仕布教のよ

うであった。

# 坊守探訪



Vol.20

## 寺基移転50年を機縁に

住職の急死から

立神多惠香委員 坊守さんはどち

らから来られたんですか。

川上由紀恵坊守 東広島県の黒瀬からお嫁にきました。結婚したのは29年前ですが、主人の仕事の関係でここに帰ってきたのは15年前です。当時は大きい車がやっと通れる細い道の先にポツンとお寺がある。そんな所でした。

委員 そつですか。でも今はそんな感じは無いですね。



川上由紀恵坊守

神石組法泉寺 川上由紀恵 坊守さん

今回は、神石高原町の法泉寺、川上由紀恵坊守さんをお訪ねしました。例年に比べ暖かいとはいえず、やはり神石に近づくにつれ気温が下がってきます。「こちらは寒いでしょう」と2つもストーブをつけて迎えて下さいました。

(聞き手=立神多惠香委員 写真=山下瑞田委員)

坊守 そつですね、50年前に4\*

離れた場所から現在の地へお寺を移転して、それから本堂・庫裡・塀と、こつこつと設備を整えてくれた

前任職・前坊守の力だと思っています。

実は、主人がお寺へ帰って5年後に急な病で亡くなったものですが、「そろそろ代替わりを」とホツとした矢先、もう一度住職として勤めていくというのはとても大変だったと思います。でもようやく今年の4月に本堂移転50年と住職継職法要を勤めさせてもらう事が出来ました。

近所の子どももお手伝いに

委員 それは大変でしたね。ところでお寺の活動として何かされていますか。

坊守 特にこれといったは無いんです。若院にいつも叱られるんです

寺や、御旧跡を訪ねての日帰り旅行と、御正忌に一泊で京都にお参りする事、そして報恩講や永代経などお齋を出すときに、近所の小学校1年から高校生までの子どもがお手伝いに来てくれる事でしょうか。

配膳や片づけなど何も知らない子ども達が、上手に出来るようになるんですよ。今年の法要もOBの子が手伝ってくれました。

委員 それは心強いですね。そういう繋がりはないかな出来ないですよ

坊守 80才になる父・母が全て繋がりをもってくれたんです。特に母の口癖が「人間関係を大切に」という事で、町に出て居られるご門徒が参って来られる時は、お寺を第二の故郷と思って貰えるような関係が出来ればいいなと思っています。特にお葬式の礼参では皆が一番宗教に対して身近に感じている時だから、そこを良いご縁と思って、お寺でゆっ



こつこつと整えられた境内地

くりしてもらいたい色々な話をさせてもらう様に心がけていますね

今、一番の目標は

委員 それは大切なことですね。お葬式は一生にそう何度もある事ではないですから、坊守として忙しい、忙しいとバタバタせずにつつくり接待させてもらわないといけないですね。最後にこれからの目標について聞かせてください。

坊守 前任職が「お寺は坊守次第」とよく言いますけど、いかにみなさんに気軽に声をかけてもらえる坊守になるか。と言つ事と、若い住職が住職として皆さんにお育て頂くにはどうしたらいいのか。次の代をしっかりと育てることが今一番の目標です。

委員 ありがとうございます。

報生口

臨時教区会を召集

【教区会】去る、11月1日、本願寺備後会館にて臨時教区会が召集されました。このたびは平成18年度教区一般会計他4つの特別会計の決算が財務議案として上程され、承認さ

れました。詳細については決算書(別冊)をご覧ください。

不公平感を少しでも解消

【教区賦課基準等調整委員会】昨年、12月12日付で門徒戸数の報告依頼が全寺院に向けて出されました。前回の答申書を受けての再調査となります。このたびの再調査は、

不公平感を少しでも解消するため、報告数を全寺院へ公開することに重点を置いております。委員会は「不公平の是正・教区財源の安定化のため、皆様のご協力を是非ともお願いいたします」とのことです。

報告は3月31日までに各組事務所宛ご提出ください。

f 特集 feature articles



浄土宗住蓮山安楽寺

伊藤正順 住職

龍谷大学大学院仏教学専攻修士

仏教大学講師

安楽寺は鎌倉時代初め法然上人の弟子で親鸞聖人と兄弟弟子にあたる住蓮上人と安楽上人が結んだ鹿ヶ谷草庵に始まる

「安楽寺縁起絵」 絵解きー平和のつとめよりー

京都・住蓮山安楽寺の伊藤正順住職に西日本ではじめて、「安楽寺縁起絵」の絵解きをしていただいた。「安楽寺縁起絵」は、法然上人の讃岐国への流罪の場面からはじまり、専修念仏の法難を回想する形で、11場面にて構成されている。最後の場面は、法然上人の専修念仏の教えが様々な苦境を乗り越えて、後の人々に受け継がれていくことをあらわしている。絵解きを通して念仏相続の大切さを改めて教えられた。以下、伊藤正順住職の絵解きを掲載した。

「註」浄土真宗では「承元の法難」というが浄土宗では「建永の法難」という

「安楽寺縁起絵」は11枚の絵から構成されています。法然上人の絵伝の中でとくに住蓮山安楽寺の由来、つまり、住蓮上人と安楽上人、松虫姫と鈴虫姫にまつわる場面の絵を11枚集めていちどに絵解き出来る様に1枚の掛け軸にしましたが、この「安楽寺縁起絵」は写真です。法然上人がちょうど800年前に、75歳のとき流された場面です。

場所は京都の清水寺。法然上人が出家功德経の法話をされています。後鳥羽上皇の女官、松虫姫と鈴虫姫の姿が描かれています。住蓮上人と安楽上人がおられた鹿ヶ谷の草庵です。大勢の僧侶が六時礼讃の行道をされています。そこに松虫姫と鈴虫姫が参詣にいられた場面です。両姫が剃髪される場面です。松

教区月報

10月

2日 特別布教大会 (沼隈西組万福寺)

4日 寺婦研修旅行(5日まで)

5日 勤式練習会

9日 門徒総代会研修会 (南部=沼隈南組光源寺)

10日 門徒総代会研修会

11日 会館常例法座(天地秀顕師)

14日 中・四国仏婦若婦人大会 (山陰)

16日 仏婦・寺婦基幹運動研修会

17日 連研のための研究会

22日 教区勤式研修会

27日 中・四国仏壯連頭研修会 (山陰 28日まで)

29日 門徒推進員基幹運動研修会

30日 平和のつとめ

11月 1日 臨時教区会

3日 教区真宗青年のつとめ (4日まで)

5日 布教団役員会

7日 法式・法務専門委員会

11日 会館常例法座(法正良映師)

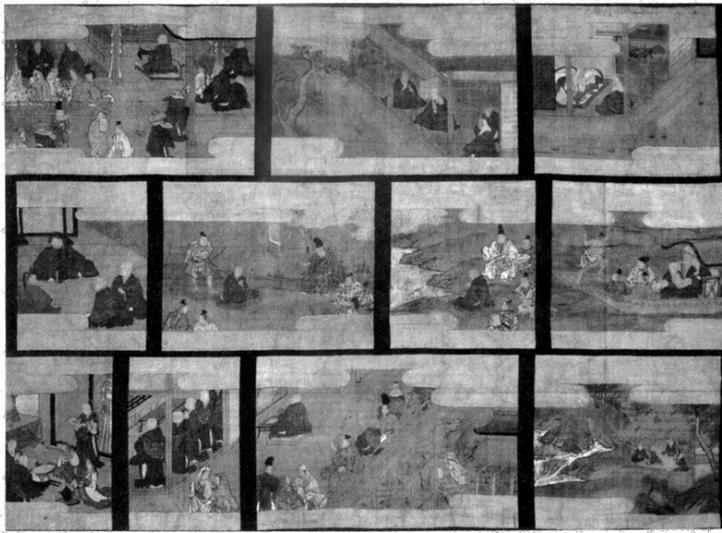
13日 ビハーラ実践学習 (寿園・相扶園)

13日 法要委員会 (北部)

15日 賦課基準等調整常任委員会

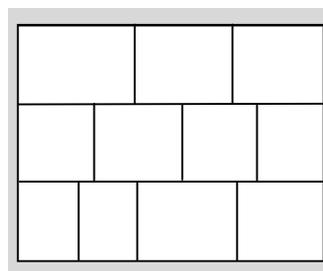
虫姫は19歳 鈴虫姫は17歳の時です。許可なく剃髪したことを後鳥羽上皇はお怒りになります。専修念仏を説く教団に対して弾圧しようとする密談をしている場面です。

刀が出てまいりますが、これは住蓮上人が打ち首に遭う場面です。現在の滋賀県近江八幡市で処刑されます。「極楽に生まれむことのうれしさに



安楽寺縁起絵(絹本着色・江戸時代) 写真上 本堂東側の厨子に祀られる住蓮上人像と右手にお剃刀を持つ安楽上人像 下段には松虫姫像と鈴虫姫像を安置 写真下

写真 中田昭 鹿ヶ谷 住蓮山 安楽寺より



身をば仏にまかすなりけり」と詠まれました。

続いて安楽上人が処刑される場面になります。京六条河原で打ち首に遭います。現在の東本願寺さんの近くの鴨川沿いで多くのの人に見守られながら処刑されます。「今はただ云う言の葉もなかりけり 南無阿弥陀仏のみ名のほかには」と残されま

した。住蓮上人と安楽上人は違った場所で処刑されますが、お二人とも建永2(1207)年2月9日に処刑されます。今からちょうど800年前のことです。

法然上人が四国に向けて出発される船出の場面です。

松虫姫と鈴虫姫は自分達のことの原因で住蓮・安楽上人が処刑され、法然上人・親鸞聖人も流罪となられたことを嘆き、静かな所で暮らしたいと広島県生口島の光明坊にまゐります。姉の松虫姫は35歳で、妹の鈴虫姫は45歳で亡くなりますので、病に伏せているのは松虫姫だと思えます。

法然上人が四国に赴く途中、光明坊に寄られ説法された記録が残っています。お姫様は説法に涙を浮かべておられます。

今から800年前、この承元(建永)の法難を機に念仏を信仰する人々が増えていったことを伝える場面です。

これが「安楽寺縁起絵」です。今日はお姫様が晩年を過ごされた、この広島島の地で絵解きをさせていただいたことを大変につれしく思っております。



- 26日 勤式練習会
- 28日 仏婦会館おみがき奉仕
- 28日 法要委員会(南部)
- 30日 会館報恩講

12月

- 5日 組長会
- 5日 法要委員会
- 6日 仏婦基幹連動研修会
- 6日 中・四国少年連盟連絡協議会 (広島 7日まで)
- 7日 賦課基準等調整委員会
- 10日 教区報専門委員会
- 11日 会館常例法座(栗原一乗師)
- 11日 基推第4部会
- 18日 憲法について学習会
- 20日 基推常任委員会
- 28日 午後から宗務納め

1月

- 8日 宗務始め
- 11日 会館常例法座(眞澄慎一師)
- 17日 キッズサンガ推進委員会
- 21日 基推第3部会
- 21日 同朋三者懇話会(尾道)
- 24日 第2回サポーター連絡協議会
- 25日 布教団役員会
- 26日 若婦専門委員会
- 29日 ビハーラ研修協議会
- 29日 矯正教化管区支部研修会 (山口 30日まで)
- 31日 僧侶研修会



# News & 活動情報

## 報恩講勤修される

11月30日、本願寺備後会館にて報恩講法要が、厳かな雰囲気のもと勤修された。日中法要は午前10時より、教務所長導師のもと「礼讃初夜偈」が勤修され、速夜法要は午後1時30分より同じく教務所長導師のもと、備中里組 鴨川組から出勤いただき、「奉讃大師作

法第一種」が勤修された。また日中、速夜法要ともそれぞれ、備後雅楽会が讃嘆衆として雅楽を奏で、優美な音色が堂内に響き渡っていた。ご講師には、本願寺派布教使の小林顕英先生をお招きし、「念仏をきく」と題して、ご法話をいただいた。近年参加者の数が増加傾向にあり、今年も多くのご参詣をいただ

き、それぞれが熱心に聴聞され、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲ばれていた。

# 報恩講



コーラス。最後はポアモリーズによる披露。日頃の練習成果を皆で「ふるさと」を合唱した。



荘厳が整った本堂



備中里組、鴨川組より出勤



讃嘆衆による雅楽



小林顕英本願寺派布教使



『御伝鈔』の拝読



前号で報恩講に向けて募集した、短歌を紹介いたします。

謹みて 御絵伝掲ぐ 報恩講

傘寿の尼の内陣荘厳

常連の 仏具磨きの 手際よさ

輪燈きらめく おとりこし法座

三谿組 立泉寺 一條妙香

仏婦有志によるおみがき

11月28日、仏教婦人会連盟有志の方々により、本願寺備後会館仏具「おみがき」が行われた。

2日後に予定された、会館報恩講に先駆けてのご奉仕であった。

当日は、午前10時より総勢13名が集い、タオルを持って内陣仏具を丁寧に磨いた。

寺内副委員長からお話を伺ったところ、何年も続いて参加して下さる方も多いとか。ご自身も「本堂内陣の仏具に触れさせていただくのは、普段あまりないこと。取り扱いは気をしますが終わったときには、すがすがしい気持ちになります」とのことだった。仏事のお作法は人間の五感をフルに使って阿弥陀さまのお徳をいただくこと、という言葉が思い出された。



報恩講前に仏具を磨く仏婦会員



推 部 会  
基 第 3 部 会  
僧侶と門信徒の  
共同参画

貴重な情報交換の場に

【連研】全組内へ連研をと「連研のための研究会」が10月17日午前10時から午後3時過ぎまで会館で行われた。参加したのは未開催組も含め正・副組長、相談員、基推委員、門徒推進員ら約40名。午前中は開会式に続いて組連研現況報告が行われた。備中里組の奥村昭道相談員と三次組連研担当の深水顕真さんが報告。このあと各組の連研開催状況を報告し合った。次いで連研中央講師の宮里哲秀さんが、問題提起を行い午後から全体協議会に移った。現在、教区内16組中、2組が開催未定であるが、開催へ向けて模索中。全体会でも活発に意見交換が行われ貴重な情報交換の場となっていた。

新しい仲間加わり活気

【門推】10月29日、本願寺備後会館にて門徒推進員のつどいが開催。写真された。基幹運動の研修や日ごろの活動について情報交換の場として年に一度設けられている。このたびは、キッズサンガ推進に向けて、小島照行キッズサンガ推進委員長よりお話を伺い、それを踏まえ協議会で意見が交わされた。またこの日は、門徒推進員の委嘱状が伝達され、総勢で49名となった。新しい仲間が加わり、門推が更に活気付いた様子だ。



自覚ある仏婦、目指し

【仏婦】昨年の締めくくりとして、12月6日、仏教婦人会推進者養成研修会が本願寺備後会館にて開催。写真された。この研修会は、各単位会において、仏教婦人会活動を中心となって推進していくくださる方々を対象に行われている。このたびは天岸浄圓仏婦総連盟講師を招聘して「自覚ある仏教婦人を目指して」をテーマに研修された。参加者は130名。



とき  
時代の流れの中で  
お寺の見える風景



道路拡張に伴い、移転を余儀なくされた御調東組照源寺（久本晃道住職）を訪ねた。

表紙の写真は、境内跡地（建物はすべて解体され門・鐘楼は移築された。今は草地となっている）と平成16年から造成が始まり工事が進められた現在の新境内地の様子。

本堂・庫裡には日本建築の伝統が受け継がれている。工事にあたっては若い方も関わり技術を学んでいた。

これまで過疎・過密、諸事情により移転をされたお寺は何ヶ寺もある。これからも時代の流れの中でお寺を取り巻く状況は変わっていくであろう。

（文責・教区報専門委）

## 僧侶研修会

本年度からはテーマを「仏教力」として現代社会において仏教の本来持っている力とは、浄土真宗の力とはについて、さらに学びを深めて行きたいと考えております。

日時 1月31日(木)午後1時(12:30より受付)

会場 本願寺備後会館本堂にて

講師 文化人類学者・東京工業大学准教授

## 上田紀行先生

(講師紹介)

現代の日本仏教が抱える問題の核心に切り込みつつ、仏教の再生に向けてエールを送った。

著書『がんばれ仏教!お寺ルネサンスの時代』や塾長をつとめる「仏教ルネサンス塾」などの活動を通して、時代をひらく新たな僧侶や寺院のあり方を提唱する。



## 備龍会教養講座のご案内

今年度の教養講座は、下記の日程で開催いたします。皆さんふるってご参加下さい。

日時 平成20年2月26日(火)午後1時より

会場 本願寺備後会館本堂にて

講師 兵庫教区善教寺衆徒

結城思聞先生(元フジテレビアナウンサー 旧姓 松倉悦郎)

## 大遠忌情報

## 本願寺展

開催期間 2008(平成20)年4月18日(金)～5月25日(日)

会場 広島県立美術館

## 前進座特別公演



## 福山

日時 2008(平成20)年6月17日(火)

会場 ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ

昼公演 13:30開場 14:00開演

夜公演 17:30開場 18:00開演

S席7,000円 A席6,000円

## 三次

日時 2008(平成20)年6月29日(日)

会場 三次文化会館

昼公演 13:30開演 14:00開演

S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円

本願寺備後会館の2月休館日をお知らせいたします。

会館休館日  
2月4日(月)  
5日(火)



2月 平山智正師  
(深津組光円寺)  
3月 三條義見師  
(鴨川北組円福寺)  
4月 岡部正顕師  
(沼隈南組南泉坊)  
5月 佐々木至成師  
(鴨川北組照専寺)  
6月 平山義文師  
(深津組光栄寺)  
7月 季平博昭師  
(御調東組法光寺)

本願寺備後会館の行事  
会館常例法座  
毎月11日 朝席 10時  
昼席 1時

本願寺備後会館の行事

### 2008年2月

- 1日 寺婦勉強会
- 4日 会館休館日(5日まで)
- 8日 勤式練習会
- 9日 仏の子どものつどい  
予定(10日まで)
- 11日 会館常例法座(平山智正師)
- 17日 仏婦若婦人研修会(後期)
- 21日 教化団体連絡協議会
- 27日 布教団部門別・基幹運動研修会・  
臨時総会
- 29日 基推定期総会

### 2008年3月

- 2日 仏壯総会・研修会
- 3日 連区教化連絡協議会  
(備後・4日まで)
- 7日 勤式練習会
- 8日 連研履修者研修会
- 11日 会館常例法座(三條義見師)
- 12日 ビハーラ実践学習
- 26日 ビハーラ実践学習

### 今後の予定

## 教化資料BOX

本願寺出版社より出版された  
注目書籍 新刊本を紹介します。



教学研究センターブックレット  
史実と伝承の聖人像  
浄土真宗教学伝道研究センター企画編集

2006年、教学伝道研究センターが行ったシンポジウムの記録集。親鸞聖人七百五十回大遠忌を前に、教団の伝統として伝承された聖人像を、最新の学術成果、特に歴史学の成果を通して検証する。時代状況に対する親鸞聖人の姿勢に学び、その実像に迫る中で、「承元の法難」八百年後の今日の浄土真宗のあり方を模索する。



庭説法 歌えばお経 話せば法話  
永六輔著

山と海、自然に囲まれた緑豊かなお寺の庭で、お寺生まれの永六輔が、語る辻説法ならぬ「庭説法」。軽妙な語り口で、「ユーモア交えて」「生」「老」「病」「死」を語る。20年もの長きにわたり、毎年行われている「お寺の会」をこのたび収録。

本願寺出版社HPより転載

## 予報 - インフォメーション -

松永駅から南西に歩いて数分といったところに、蔵を想像させる店構えの、瀬戸内家具工業がある。

九州・山陽地方一帯で、主に寺院用の机やイスを製造しており、また筆筒など、様々な工業品の修繕も行っている。そついった家具屋を営む小林さんは、善性寺の総代、教区会議員など、精力的に活動して下さる「門徒さん」のひとり。

子どもの頃から祖父母に連れられてお寺に参ったとのこと。「帰りに買ってもらったお菓子を楽しみだした」とその当時を振り返る。「祖父母から頂いたお念仏を子や孫へ伝えたい」と熱く語る姿を温かく見守られるお母さんの眼差しが印象的だった。

小林幸司さん  
沼隈西組善性寺門徒



### 門徒さん

大村卓示さん

沼隈西組常泉寺門徒



福山市本通り商店街に大村仏具店がある。

お仏壇だけでなく、お寺の仏具・欄間等も手掛ける。店内にはお寺からの感謝状が飾られてある。「皆さんに喜んでもらえた時が、私の喜びです」と語られる。今も精力的に飛び回っておられる。

「元は、柳津で明治中頃までは生糸の商いをしていました。仏具の商売が成り立つようになったのは明治の20年代頃からで、それまでは仏壇屋というのはなかった」と、歴史を熱く語ってくださいました。また、奥さんの入れてくださったお茶と笑顔が心を和ませてくれました。

# 得度許可

皆さんの心に響いた  
言葉をお寄せください

# 心に響く ことば

マスコミ くちコミ 思い込み

詰め込み知識は 仏法智らず

おめでとう  
ございます!!

〔敬称略〕

- 奥組 永宝寺
- 前田 加奈枝(加奈)
- 沼隈南組 法輪寺
- 足利 満恵(浄華)
- 比婆組 西楽寺
- 定光 淳(大淳)
- 御調東組 金剛寺
- 金岡 恒宣(恒宣)
- 〔平成19年8月11日付〕
- 神石組 泉正寺
- 柏原 龍彌(龍彌)
- 〔平成19年9月15日付〕

# 敬 弔

# 教師授与

御調西組 浄楽寺

大川 益弘(益弘)

〔平成19年9月15日付〕

三次組 東光坊

中村 周六(等正)

御調西組 浄楽寺

石川 美行(美行)

世羅組 光永寺

毛利 純子(純真)

〔平成19年10月15日付〕

おめでとう  
ございます!!

〔敬称略〕

沼隈西組 大東坊

那須 智雄(智雄)

世羅組 円流寺

玉井 寿尚(寿尚)

〔平成19年8月30日付〕

お悔やみ申  
し上げます

〔敬称略〕

御調西組 憲徳寺

前坊守 松井 ゆき

〔平成19年11月14日寂〕

世羅組 真行寺

前坊守 是山 美知枝

〔平成19年11月23日寂〕

三次組 浄伝寺

前坊守 福万 トシエ

〔平成19年12月2日寂〕

御調西組 専光寺

衆徒 倉橋 登一

〔平成19年12月4日寂〕

備中里組 大円寺

前任職 奥村 耀朗

〔平成19年12月23日寂〕

# 香典返礼

ありがとうございます  
ございます

三谿組 明覚寺 様

より香典返礼を頂きました。

# お礼

ありがとうございます  
ございます

御調東組 照源寺 様

よりガウンを5着ご寄贈いただき  
きました。

# 仏教徒の皆様へ

ビルマ難民キャンプの子どもたちへ支援  
活動の協力をお願い



全日本仏教会よりビルマ難民キヤ  
ンプ支援の協力依頼がありました。  
400人ばかりの子どもたちが難民  
キャンプで生活しており、その中  
には僧院もあり、僧侶も生活してい  
ます。義捐金のご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

\*2008年2月末の締め切りを第  
一次と考えています。

\*郵便振替  
口座名 ビルマの僧侶に連帯する  
仏教徒の会

\*口座番号

0139017186201

# 編集後記



今号のルポも、前号に引き続き深  
津組の常例線を追いました。各会所  
からは、参詣者の減少を憂う声が異  
口同音に聞こえてきます。筆者は、  
参詣の数ではなく、未参詣の数にも  
目を向けるように勤めて記事を結ん  
でいます。教区では、本年も僧侶研  
修会を開催します。出講予定のご講  
師からは、「その会は年中行事の消化  
試みみたいなものではないでしょう  
ね」との厳しい問い合わせがあつた  
そつです。返事に窮するところであ  
ります。出席者の顔ぶれでは無く  
未出席の方々が気になります。

(K・H)

